

令和4年度 地域発 元気づくり支援金事業総括書

事業名	匠の技術と伝統の継承・記録化事業
事業主体 (連絡先)	下條村 下條村教育委員会 0260-27-1050
事業区分	(3)教育、文化の振興に関する事業
事業タイプ	ソフト
総事業費	769,910 円 (うち支援金: 598,000 円)

事業内容

下條村の草履、草鞋、正月飾り、小正月飾りを制作している「匠の会」結成30年を迎え、会員の高齢化・藁細工や飾りづくりの技術の継承が問題化。伝統技術の記録を残し今後も継承していくため、伝統技術の制作過程の映像化とマニュアル化を図るとともに、体験講習会や、初心者でも参加しやすい「布草履」作りのワークショップを行うことで幅広い世代に興味をもって貰い、新規会員の獲得と伝統技術・知識の継承を図る。



【布草履ワークショップ】

【目標・ねらい】

事業効果

- ①多世代型 わら細工講習会を実施することで、作成した動画を活用した新たな手段による技術の継承およびコロナ禍でできなかった多世代型の交流を行った。
- ②「布草履キット」を使った子ども連れや女性でも参加しやすい「布草履ワークショップ」を実施。新たな視点での技術の継承と会員獲得を目指した。1回目16名 2回目22名参加と大好評。
- ③下條村 文化の祭典にて藁草履講習会・布草履ワークショップで制作した草履のお披露目した。
- ④伝統技術の継承・記録化のため、制作風景をマニュアル化、および映像化を実施。制作物を使い新規会員への講習への活用や下條村の独自文化としての草履づくりを継承していく。映像はYoutubeでも公開した。

- ①多世代型 わら細工講習会の実施により多くの世代へ藁草履づくり技術の継承
- ②布草履ワークショップの開催による女性会員・子供会員の獲得
- ③文化の祭典での制作物のお披露目
- ④伝統技術のマニュアル化・映像化による文化の継承

※自己評価【 B 】

【理由】
マニュアル本化・映像化を行えたことは匠の会として大きな一歩かつ新たな取り組みとして実施した「布草履ワークショップ」は計38名参加と大好評だった。
多世代型わら細工講習会には8名の参加と想定を下回ったことが残念だった。

今後の取り組み

匠の会では「わらじづくり」「正月飾り」「小正月飾り」の制作も行っており、本事業を参考にさらなる技術の継承・映像化を行いながら新規会員獲得・伝統技術の継承に努めていく。